

令和3年度 美術学科 FD・SD 研修会③④

「 授業評価シートの改善 」

日 時：令和3年 2月19日（金）9：00～12：30

令和3年 3月5日（金）14：40～15：40

講 師：新井

参加者：東田 権田 堀 本山 新井 大谷 和田 大場

授業評価シートの内容項目について、より学生の実態を反映できるようにマイナーチェンジを行い、2回のFD研修を経て検証した。2月19日は現状の評価シートの問題点を共有し、常勤教員に授業の重点項目の見直しを依頼。その後、修正したデータをシステムへ反映した。3月5日は、修正したシステムに学生の成績を入力し、得られた結果について意見交換を行った。

これまでの評価シートは、点数化に紐付けされた授業ごとのマーク(○◎)記入方法に問題があった。現在は授業担当者が考えている授業重点項目に対してマークされている。例えばある授業では、評価のほとんどは小テストによる文章力で評価されているのに、意欲やマナーといった項目も自動的に評価されてしまう、ということがおこっている。これらの問題点を共有し、点数化に関連した項目に絞り、マークの記入を最後おこなった。

一方、このシートは学生が履修を行う際に、授業選択の指針として活用することも期待されている。そこで、成績評価には結びつかなくても、その授業において学生に身につけ手欲しいと重視している項目について新たに(・)マークを追加した。

また、改めて、自己理解や意欲など、態度や取り組みに関する項目は成績に反映しづらいことが確認できた。評価シートへこれらの項目をどのように反映させるのか、次年度一年間かけて準備することとなった。

今回の研修をもって、常勤教員のシート修正作業は終了した。非常勤講師の授業は、暫定的に昨年までのデータを使い、R3年度前期中に見直しを依頼する。(実際に評価するのは後期開始であるため問題ない) また、履修する際の参考にしてもらうため、前期ガイダンスにおいてプリントを配布し学生たちに説明することを確認した。



CP (カリキュラムポリシー)	5	4	2	1	1	2	4	3	1	1	2	3	3		
DP (ディプロマポリシー)	3	2	3	1	1	3	3	3	2	4	4	4	2		
	人間性				社会性				専門性 (美術)						
	自己理解と態度		一般教養		コミュニケーション		社会性		美術のスキルと知識			アイデア・工夫			
	自己理解	向上心	柔軟性・積極	教 養	文章力	チームワーク	論理的思考	計画性	働く意欲・社会貢献	専門技能① (実 技)	専門技能② (PCスキル)	専門知識	プレゼンテーション	アイデア	自己探求
	自分の性格・長所・短所を理解している。	具体的な目標にむけ努力することができる。	自分の気持ちにコントロールし、多様な考え、価値観を受け止める。	社会人としての常識・教養の必要性を理解している。	聞いたことや学んだことを文章にまとめることができる。	他者との関わりを大切にし、互いに協力することができる。	複雑な問題を分解して考えることができる。	課題について捉え方をたて、自分の行動をコントロールすることができる。	就職や自活に向けて考え、社会に役立つ視座を持つことができる。	画力・造形力・デザイン力など、各分野で必要な技術を身に付けられる。	コンピュータを使い、作品制作や情報収集・発信ができる。	意見を効果的に発表し、伝えるための表現方法を工夫することができる。	意見を効果的に発表する。伝え方の表現方法を工夫する。	既存の考え方や方法に対して、何か新しい提案をすることができ	自分らしい表現方法について工夫し、深めていくことができる。
油画・日本画演習Ⅰ		○						○		◎		○			◎
油画・日本画演習Ⅱ		○						○		◎		○			◎
油画・日本画演習Ⅲ		○						○		◎		○			◎
デザイン・ビジネス演習Ⅰ			・					○	○	◎	◎	○	○	○	・
デザイン・ビジネス演習Ⅱ			・		○			○	○	◎	◎	・	○	◎	・
デザイン・ビジネス演習Ⅲ			・		○			○	○	◎	◎	・	○	◎	・
マンガ・キャラクター演習Ⅰ		○			○			○		◎	◎	○	○	○	○
マンガ・キャラクター演習Ⅱ		○			○			○		◎	◎	○	○	○	○
マンガ・キャラクター演習Ⅲ		○			○			○		◎	◎	○	○	○	○